

## エチオピア経済月報(2023年9月)

### 主な出来事

- 首相、所得税の改正と最低賃金の導入を決定
- コーヒー紅茶庁、今年度はコーヒー輸出で15億米ドルの売り上げ目標を設定
- エチオピア投資委員会、昨年度のFDI流入額は3.64%増の34億2,800万米ドルと発表
- エチオピア・インベストメント・ホールディングス、トッパン・グラビティと合併会社を設立
- グリーン・レガシー・プログラムにより今年度全国で75億本の苗木が植えられた

### 1. 経済全般・財政・金融

- アビイ首相は、所得税の改正と最低賃金の導入にゴーサインを出した。(2日、Reporter)
- エチオピア中央銀行が最近行った融資残高の増加に14%の上限を設ける動きは、新興銀行の幹部から反発の声が上がっている。(2日、Fortune)
- ダッセン銀行は、欧州の有名金融機関2社の金融支援を受け、外国融資仲介のガラスの天井を破った最初の銀行となった。(4日、Capital)
- エチオピア国立銀行(NBE)は、車両保険料率を非常に低い水準に抑える措置により、保険会社は保険料の引き下げを行わなくなることとなる。(4日、Capital)
- エチオピア資本市場庁(ECMA)と国際金融公社(IFC)は、同国の国内資本市場の成長を支援し、現地通貨建て金融へのアクセスを拡大する4年間で150万米ドルのプロジェクトを開始した。(5日、Daily Monitor)
- 貿易・地域統合省(MoTRI)は、輸出業者のフィードバックと議論のために、2030年までに国に貢献する輸出戦略草案を提出した。(5日、Herald)
- エチオピアの債券市場は、当局が新たなセカンダリー取引プラットフォームの導入を準備する中、転換期を迎えている。(9日、Reporter)
- エチオピア政府は、2025年に予定される国勢調査を前に、30年来の国家人口政策(NPP)の見直しに着手した。(9日、Reporter)
- アビイ首相はエチオピアのグランド・エチオピア・ルネッサンス・ダム(GERD)の経験を元に巨大建設会社を設立する構想を発表した。(16日、Reporter)
- エチオピア国立銀行(NBE)は、外為流入が減少している同国への投資を誘致するための大胆な入札として承認された指令により、投資家が法人設立の管轄地域とは異なる金融機関で銀行取引を行うことを許可した。(16日、Fortune)
- エチオピアコーヒー紅茶庁(ECAA)によると、エチオピアは8月のコーヒー輸出で1億4,000万米ドルを稼いだ。今年度は15億米ドルを目指す予定。(18日、Daily Monitor)
- Tsehay銀行がクレジットカードの発行を開始した。(18日、Capital)
- 財務省が発表した公布草案によると、市内にある小規模な住宅用地と特定の官公庁は、新しい固定資産税から免除される。(23日、Reporter)
- 海外に1年以上居住しているエチオピア人およびエチオピア出身の非居住者は、30日以内の入国ビザを提示できる場合に限り、1万ドルまでの外貨紙幣を預け入れることができるようになった。(23日、Fortune)
- 9つの公営企業は、昨年度合計で82億ブル(218億円)の年間利益を得たが、雇用創出に関する目標を達成できなかった。(25日、Daily Monitor)
- Awash銀行がグローバル中小企業金融アワード2023で表彰された。(25日、Capital)
- 国際通貨基金(IMF)は、エチオピアの主要な経済的課題への取り組みを支援するための潜在的な財政支援について協議中であることを確認した。(28日、Reporter)

## 2. 貿易・投資・ビジネス

- ファーウェイ・エチオピアは、第 7 回ファーウェイ ICT コンペティションの優勝者を表彰し、他の学生のモチベーションを高めることを目的に、ICT コンペティション優勝者表彰式を開催した。(4 日、Capital)
- エチオピア投資委員会は、2022/23 会計年度の外国直接投資(FDI)流入額は 34 億 2,800 万米ドルとなり、昨年度と比較して 3.64%増加したことを明らかにした。(8 日、Herald)
- エチオピア・インベストメント・ホールディングス(EIH)は、トッパン・グラビティと提携し、証券印刷事業を立ち上げる。(8 日、Daily Monitor)
- エチオピアの新年を目前に控え、花の価格が驚くほどの勢いで上昇しており、小売業者は品不足に困惑し、卸売価格の上昇に追いつこうと奔走している。(9 日、Reporter)
- 花の輸出業者は、箱、包装紙等の資材は、花卉輸出の原材料とみなされるため非課税であったが、大きくコストとプロセスがかかっていたため、産業省、農業省、エチオピア投資委員会は輸入手続き簡略化の基準を打ち出した。(9 日、Fortune)
- Raxio・データ・センターは 7 ヶ月前に操業を開始する予定であったが、数ヶ月後には能力を 2 倍の 3 メガワット、800 ラックに増強して操業を開始する予定である。(10 日、Fortune)
- Ethio Telecom 社はアディスアベバで 5G ネットワークサービスを展開した。(11 日、Daily Monitor)
- エチオピア通信当局は、2 つ目の電気通信ライセンスに関心を持つ投資家の要請を受け、資格審査請求書(RFQ)の提出期限を延長した。(14 日、Daily Monitor)
- エチオピア航空はビジネス・トラベラー・アワードで「ベスト・アフリカン・エアライン」に選ばれた。(14 日、Daily Monitor)
- 貿易・地域統合省は、不良品や見せかけの広告が増加傾向にあることから、消費者を保護しながら健全な市場競争を促進することを目的とした法案を作成した。(16 日、Fortune)
- フランス系コンサルタントが官民パートナーシップ(PPP)のためのフィージビリティ・スタディを終えているため、セントポール・ミレニアム医科大学の敷地内に腫瘍学センターが建設中である。(16 日、Fortune)
- オロミア地方にあるリチウム鉱床 Kenticha プロジェクトは、誰がこの鉱床の有利な採掘権を管理するのかをめぐって、法的な対立や政治的な駆け引きが続いている。(16 日、Reporter)
- 赤道ビジネスグループ(EBG)は、エチオピア市場に第 7 世代の第一汽車(FAW)トラックの供給を開始したと発表した。(18 日、Capital)
- 外貨不足により、エチオピア石油供給企業(EPSE)は 2 億米ドルを投じたドウケム燃料貯蔵所プロジェクトの中断を余儀なくされた。(30 日、Capital)

## 3. 農業

- 農業省は、未発達の水産業に目を向け、生産品質とマーケットチェーンに対応する規制の枠組みを準備している。(2 日、Fortune)
- 農業省は、昨年度 1,759 万ヘクタールの農地が耕作されたと発表し、農民は 1,580 万ヘクタールの土地で作物を栽培し、50%の土地でクラスター農業が実施されたと付け加えた。(5 日、Herald)
- 昨年度、エチオピアでは 101,000 トンを超える魚が収穫され、農業省の指導のもと強化されてきた国家的努力が報われつつある。(6 日、Herald)
- アビイ首相によると、「バスケットの恵み」イニシアティブによりエチオピアの年間蜂蜜生産量は約 98,000 トンに増加した。(8 日、Daily Monitor)
- 韓国国際協力団(KOICA)は、エチオピアの酪農の製品と生産性を向上させることを目的とした 5 年間のプロジェクトに 1,000 万米ドルの資金を割り当てたと発表した。(9 日、Herald)

- アディスアベバのアダネク市長は 14.5 億ブル(39 億円)規模のレミ・クラ農産物市場センターの落成式を行った。(10 日、Herald)
- オロミア州農業局は、今年度中に 100 万個の近代的な蜂の巣を配布する予定であると発表した。(19 日、Herald)
- アビイ首相は、今年のグリーン・レガシー・シーズンが終了した時点で、エチオピア国民は目標を上回り、全国で 75 億本の苗木を植えたと述べた。(19 日、Herald)
- Yayu fertilizer complex は、廃業した旧請負会社メタル・アンド・エンジニアリング・コーポレーション(MetEC)から資金回収され、5 年の遅れを経て肥料コンビナートの建設が 85%に達した。(23 日、Reporter)
- エチオピア森林開発(EFD)は、エチオピアの竹産業を発展させるため、中国の南京林業大学とパートナーシップを結ぶ動きを見せている。(26 日、Daily Monitor)
- アムハラ州農業局によると、アムハラ州では、米の栽培と生産が増加している。(28 日、Herald)

#### 4. エネルギー・鉱業・インフラ

- グランド・エチオピア・ルネッサンス・ダム(GERD)の 4 回目の湛水を完了した。(10 日、Reporter)
- アフリカ開発銀行(AfDB)の理事会は、エチオピアに対する同国東部の電力供給改善のための 1 億 400 万ドルの融資を承認したと発表した。(14 日、Daily Monitor)
- 貴金属採掘会社 Allied Gold は、エチオピアのクルムク・プロジェクトの拡張を承認し、2 段階の開発計画に 5 億米ドルを投入すると発表した。(18 日、Capital)
- エチオピア送配電公社(EEU)は問題となっているアディスアベバの送電網システムについて 5700 万ドルによる大幅な改修を予定している。(23 日、Fortune)
- リチウム精鉱生産のために設立した Kenticha Mining plc は、15 億ブル(40 億円)相当のスポジューメン DMS/高密度媒体分離/処理プラントの第一陣の到着を発表した。(25 日、Capital)
- 貿易・地域統合省(MoTI)は、2 ヶ月連続で 2 度目の燃料価格の調整を行った。(29 日、Daily Monitor)

#### 5. 工業・運輸

- 建設業における致命的な欠陥が蔓延し、それが人的・経済的コストに影響を及ぼしていることから、都市・インフラ開発省は規制法案を準備している。(2 日、Fortune)
- エチオピア航空カーゴ&ロジスティクス・サービスは、メキシコシティ空港(MEX)から新たに開港したフェリペ・アンヘルズ国際空港(NLU)に業務を移転した。(13 日、Herald)
- アディスアベバ市当局が購入した最新式の公共バス 67 台が、1 カ月後に国内に導入される予定であることを、アディスアベバ公共交通サービス企業が明らかにした。(17 日、Herald)
- ベニシャングムズ州に、Yo Holding Trade and Manufacturing Plc によって輸入を代替しセメント工場の技術的問題を最小化すると言われる初の石炭洗浄プラントが稼動した。(26 日、Herald)
- リチウム鉱山生産会社である Kenticha Mining Company は、南アフリカから 19 億ブルを超える世界初のリチウム生産機械の引き渡しを受けたと発表した。(26 日、Herald)

#### 6. 二国間・ドナーの動き

- 新たに国連常駐人道調整官のカントリーディレクターに任命されたラミズ・アラクバロフ・アーガウは外務大臣と会談を行った。(2 日、Reporter)
- 国際協力機構(JICA)は、アディスアベバ市道路公社(AACRA)に 78 台の道路メンテナンス機械・設備を引き渡した。(13 日、Herald)

- エチオピアと中国は、ルバン・ワークショップを通じて技術教育における協力を強化し、関係を強化していると、中国の天津理工大学が発表した。(14日、Herald)
- エチオピア赤十字(ERCS)は、2年半に及ぶ紛争により緊急支援を必要とする2,500万人の北エチオピアの人々に手を差し伸べるには30億ドルが必要であるとしている。(16日、Reporter)
- 日本は Association for Women's Sanctuary and Development (AWSAD)と、アディスアベバにおけるジェンダーに基づく暴力(GBV)被害者のためのシェルター建設に関する契約を締結した。(19日、Herald)
- 国家災害リスク管理委員会(NDRMC)は、最近スーダンから避難してきた4,000人のエチオピア人帰国者に人道的支援を行っていると発表した。(20日、Herald)
- 国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)のフィリップ・グランデ弁務官は、エチオピアの難民政策を称賛した。(20日、Herald)

#### 7. その他

- エチオピア宇宙科学地理空間研究所(SSGI)が昨日明らかにしたところによると、今後3年以内にETRSS-2と名付けられた2番目の衛星を打ち上げる予定。(10日、Herald)
- 2023年9月8日の国家慈善デーの一環として、Ethio telecomが携帯ショップの引き渡しを通じて支援した機会を利用して、エチオピアの若者は新しいビジネスを始めようとしている。(15日、Herald)
- エチオピアが主催する第20回アフリカ・ファイン・コーヒー会議・展示会は、アフリカのコーヒー生産国の競争力を高めるために重要な役割を果たすだろうと、アフリカ間コーヒー機関(IACO)は述べた。(17日、Herald)